

1. SDGs の基礎知識

③身近にある SDGs

いきなり今日から SDGs を始めよう！といっても何から始めたらいいかわからない人が大半だと思います。私自身もやりたいものの、じゃあ何をすればいいの？といきなりつまずいてしまいます。まずは難しく考えず、自分が今できる SDGs を考えてみましょう。その考えが SDGs を始める第一歩になります。

身近にある SDGs の取組みとは何だろう？

身近にある SDGs の取組みとは何でしょうか？ありがちな失敗は、「会社の SDGs 事業で何をすればいいか？」と一番難しいことから考えて、思考停止になってしまうパターンです。まずはハードルを一番下まで下げて、スタートすることが重要です。

いつもは電気代節約でやっていた電気をこまめに消すという行動は、CO²削減や環境保護という地球のためと考えてみると、違う視点で行うことができます。電気屋に行った際に、製品の性能や価格だけで購入を判断するのではなく、環境性能を考えた製品かどうかなどを考えて購入することも SDGs の取組みといえます。

「何か」から「これも SDGs の行動ということは、あれもそうなのかな？」と連想して考えていくことで、「この取組みが会社でできる SDGs の取組みではないか」といった形で次の行動への発想が広がっていきます。

My SDGs を見つけてみよう！

よく分からないことがあっても、今までやっていたことを違う視点から考えて見ること、SDGs との関連性を見つけることができます。ぜひ今日から自分自身の SDGs の取組みとして「私はこれだ！」という My SDGs を見つけましょう。

17 ゴールの中で、どれが一番重要かは人によって異なります。誰かが大事だといっているものを自分も選んだり、選び方を真似しても意味はありません。自分自身の心に聞いてみるのが、自分に合う SDGs のゴールを見つける一番の近道です。

では、具体的にはどうすればいいのか？

まずは SDGs の 17 のゴールや 169 のターゲットをよく読み、自分が情熱や使命感など関心が持てるものを探します。そして、優先順位を付けて自分にとって一番大切だと思うものを選びましょう。「そんなに簡単に選んでいいの？」と言われてそうですが、じっくり考えるより直感で選んだ方が自分にとっての正解に近づくことができます。

地球や人類と考えると SDGs は壮大なテーマと感じてしまいがちですが、個人の行動に落とし込むと、もっと身近に感じることができます。例えば、現在コロナウイルス予防で行っている手洗いやうがいは、SDGs ゴール3の「すべての人に健康と福祉を」に貢献できます。自分自身が健康であることで、医療サービスや社会保障費をより必要な人に譲り、コロナ感染症を減らし病人を減らすことができます。コンビニでお弁当を買ったときに、余ったおつりを募金箱に少し入れることは、SDGs ゴール1の「貧困をなくそう」に繋がります。

実際に考えて取組んでみると、それまで知らなかった課題を発見し、SDGs を自分事として考えることができます。

一人ひとりが簡単なことから一歩ずつ取組むことが、SDGs を大きな力に変えると私は考えています。

<執筆者> 株式会社 吉岡経営センター
コンサルティング部 橋本 直紘

<プロフィール>

建設業・製造業など中小企業を中心に「人事制度改定」のコンサルティングを担当。